

## 平成 53 回役員会議事録

I 日 時 平成 20 年 4 月 24 日(木) 13 時 45 分～15 時 00 分

II 出席者 岩崎学長、工藤理事、腰塚理事、泉理事、波多野理事、吉武理事、谷川理事、  
山田理事、  
合志監事、吉井監事、水林副学長、植松附属図書館長

### III 議 題

- 1 議事録の確認 ----- [資料 1]
- 2 男女共同参画の推進について ----- [資料 2]
- 3 研究ライセンス取扱規程及びリサーチツール特許取扱規程の制定について ----- [資料 3]
- 4 早稲田大学との連携協定の締結について ----- [資料 4]
- 5 平成 19 年度余裕金の運用結果について ----- [資料 5]
- 6 平成 20 年度重点業務課題について ----- [資料 6]
- 7 平成 20 年度監事監査計画について ----- [資料 7、席上配付]
- 8 その他 ・平成 20 年度の運営方針について(会議の冒頭に学長よりコメント) -- [席上配付]  
・アフリカ開発銀行との一般覚書(MOU)の締結について

### IV 議 事

冒頭に、学長から、席上配付に基づき、平成 20 年度の本学の運営に対する所信が述べられた。

- 1 前回議事録は、原案どおり了承された。
- 2 資料 2 に基づく審議の結果、男女共同参画推進室の設置について原案どおり承認された。
- 3 資料 3 に基づく審議の結果、原案どおり承認された。
- 4～7 資料 4～7 に基づき報告があった。
- 8 吉武理事から、現在、本学とアフリカ開発銀行との間で、今後の協力連携に関する一般覚書(MOU)を締結する方向で検討を進めている旨の報告があった。

#### 【議事における意見等】

- 2 男女共同参画推進室の室員構成について、男女比率も考慮のうえ再検討するよう指示があった。  
また、同室において重点的に推進する施策等を具体化・明確化し、実効性のある活動をしていくことが重要である旨の意見があった。
- 5 泉理事から、運用制度の弾力化を踏まえた余裕金の効率的運用のための方針について、6 月の本会議に付議する予定である旨の付言があった。
- 7 監事監査の結果を、本学の社会的評価の向上等に着実に活かしていくことが大切である旨の意見があった。

以上